

複合構造レポート 06

樹脂材料による複合技術の最先端

目 次

	頁
はじめに	
第1章 樹脂材料の種類と性能	1
1.1 樹脂材料の種類と性能	1
1.1.1 概要	1
1.1.2 樹脂材料の種類	1
1.1.3 樹脂製品使用上の注意	3
1.2 樹脂材料の種類	5
1.2.1 エポキシ樹脂	5
1.2.2 ウレタン／ウレア樹脂	9
1.2.3 不飽和ポリエステル樹脂	13
1.2.4 ビニルエステル樹脂	18
1.2.5 MMA 樹脂	23
1.2.6 アクリル樹脂	29
1.2.7 シリコーン樹脂	32
1.2.8 変性シリコーン樹脂	35
1.2.9 ポリサルファイド樹脂	38
1.2.10 フッ素樹脂	40
1.2.11 フェノール樹脂	43
第2章 用途別樹脂材料	47
2.1 概要	47
2.2 接合用樹脂	49
2.2.1 シーリング材	49
2.2.2 フレッシュコンクリート接合	53
2.3 補強用樹脂	61
2.3.1 連続繊維シート補強	61
2.3.2 鋼板接着	68
2.4 表面被覆用樹脂	74
2.4.1 コンクリート構造物の表面被覆	74
2.4.2 鋼構造物の表面被覆	79
2.4.3 コンクリート片はく落防止対策	84
2.5 複合材料(FRP)用樹脂	86
2.6 樹脂アンカー用樹脂	104
2.7 ひび割れ注入用樹脂	116

2.8 床版防水用樹脂	124
2.9 上下水道施設用樹脂	129
2.9.1 上水道施設用樹脂	129
2.9.2 下水道施設用樹脂	132
 第3章 複合構造としての適用事例	
3.1 概要	137
3.2 接合用途	138
3.2.1 鋼床版 SFRC 補強工法	138
3.2.2 接着接合型 RC 床版上面増厚工法	142
3.2.3 空港エプロンにおける薄層付着オーバレイ工法	145
3.3 補強用途	148
3.3.1 FRP による橋脚の耐震補強工法	148
3.3.2 FRP による鋼構造物の補修工法	153
3.3.3 FRP による RC 床版の補強工法	160
3.4 表面被覆用途	163
3.4.1 コンクリート片はく落防止工法	163
3.4.2 紫外線硬化型 FRP シート工法	165
3.5 複合材料 (FRP) 用途	170
3.5.1 シールドトンネルなどの発進・到達立坑	170
3.5.2 FRP 製材料を適用した付属物	184
3.6 樹脂アンカー	186
3.7 ひび割れ注入	188
3.8 床版防水	199
3.9 上下水道	205
3.9.1 上下水道における防食シートライニング工法	205
3.9.2 下水道における樹脂ライニング工法	218
3.9.3 上水道における樹脂ライニング工法	222
 第4章 複合構造における樹脂材料に期待される性能と新技術	
4.1 概要	225
4.2 耐久性を確保するための現状と課題	226
4.2.1 防食特性	226
4.2.2 強度特性	228
4.2.3 接着特性	229
4.3 樹脂材料の接合部で考慮すべき力学的な影響と新たな設計法	232
4.3.1 樹脂材料による接合強度の設計	232
4.3.2 接合用樹脂の厚さの影響	239
4.3.3 接合用樹脂層のせん断剛性の影響	241
4.3.4 樹脂材料の仕様が及ぼす有効接着長さへの影響	245
4.3.5 硬化収縮による接合面の残留応力の推定	247

あとがき	251
付録 樹脂の材料試験要領	253
記録 1 : 土木研究所 材料地盤研究グループ FRP 試験橋梁	261
記録 2 : NEXCO 東日本 千歳工事事務所管内 橋梁 & トンネル工事視察報告	267